

あびこ子どもまつりの沿革

2021.10.1 版

※加筆できる方がいらっしゃいましたら、子どもまつり事務局のメールアドレス
(abiko.kodomomatsuri@gmail.com)までご連絡ください。

1995 年 第1回開催 障がいをもつ我が子も家にひきこもらず、外で遊ぶ場がほしいというお母さんたちの
思いから市民有志が主催。場所:手賀沼公園多目的広場を同時開催の我孫子生活センター祭りと二分。
ウォークラリー、遊びのコーナー、模擬店。協力:生協、社会福祉協議会、我孫子市教育委員会。

1996 年 第2回開催 場所:手賀沼公園、我孫子中央公民館。主催:あびこ子どもまつり実行委員会。かん
ぽ助成金得て、バード・カービング、ダンボールトンネル、遊びコーナーのほか、かんぽ健康ウォークラリー
大会、サンバパレード、世界の子ども絵と鳥の絵画展を企画運営。入口に設置する門、
懸垂幕(ヨーカ堂外壁に掲示)、横断幕、パスポート作成。協力:書道家来空氏、児童漫画インストラクター
川田あきひこ氏、画家鈴木明子氏、日本野鳥彫刻創始者内山治雄氏。協賛:我孫子市こども会育成会連
絡協議会、
後援:我孫子市・我孫子市教育委員会・我孫子市社会福祉協議会。

1997 年 第3回開催 場所:手賀沼公園、我孫子中央公民館。主催:あびこ子どもまつり実行委員会。テー
マ「でっかくあそぼう、仲間をつくろう!」。協賛金:32 社 51 万円。子どもたちが世界への視野を広げる企画
としてクロアチアで開かれたユネスコ「第 37 回世界子供の祭典」に親善大使を2名派遣、 109
人の子どもたちによる3m×5mの自由画の寄せ書きを贈呈。返礼品として同サイズのシベニックカテドラル
の絵。かんぽウォークラリー、遊びのコーナー、実行委員会の企画コーナーの3本柱で開催。おもちゃ病院、
ぐりのともだちの人形劇、ホットポットファミリーバンド、
バード・カービング、あびこふるさと会和太鼓、我孫子吹奏楽団・NEC 吹奏楽サークル・市内の中学生によ
る吹奏楽アワーなど。協賛:我孫子市こども会育成会連絡協議会。後援:我孫子市・我孫子市教育委員会・
我孫子市社会福祉協議会。

1998 年 第4回開催 雨天。場所:我孫子中央公民館。我孫子青年会議所主催「エンジョイ手賀沼」同時開
催。会則作成。実行委員会から企画ボランティアグループ「子まつり企画」発足。湖北近隣センターのオー
プン記念事業に子どもまつりパネル展示で参加。クロアチアで開かれたユネスコ
「第 38 回世界子供の祭典」に親善大使4名を派遣、3m×5mの自由画の寄せ書きを贈る。(財)千葉県国
際交流協会助成決定。遊びのコーナー、ぐりのともだちの人形劇、茶道・平安貝合わせ、プレイバックシア
ターなど。参加者 500 名以上。協賛:我孫子市商工会、柏商工会議所。 後援:我孫子市・我孫子市教育
委員会・我孫子市社会福祉協議会。

1999 年 第5回開催 場所:手賀沼公園、我孫子中央公民館。主催:あびこ子どもまつり実行委員会。ウォ
ークラリー、あそびのコーナー、企画のコーナー。ユネスコ主催「第 39 回世界子供の祭典」交流継続。コソ
ボ紛争のため親善大使派遣断念。親水広場「Enjoy!手賀沼」で合作絵を作成。
交流絵画をエスパ1階吹き抜けに展示。ヨーカ堂我孫子店外壁に懸垂幕を掲示。クロアチアから版画「こん

な機械あったらいいなあ」到着。「あびこ国際交流まつり」展示参加。米国ウイスコンシン州「女性の翼」との
会見。湖北地区近隣センター開所1周年記念展示参加。

我孫子吹奏楽団定期演奏会に協力。2000人以上が参加。協賛：我孫子市商工会、柏商工会議所。後
援：我孫子市・我孫子市教育委員会・我孫子市社会福祉協議会。

2000年 第6回開催 場所：手賀沼親水広場と水の館。主催：あびこ子どもまつり実行委員会。昔あそびや
伝統文化を伝えるあそびコーナー。ウォークラリー。ダンボール広場、吹奏楽、ユネスコ主催「世界子供の
祭典」交流絵画の展示などの企画コーナー。

後援：我孫子市・我孫子市教育委員会・我孫子市社会福祉協議会。

2001年 第7回開催

2002年 第8回開催 場所：アビスタ。主催：あびこ子どもまつり(子まつり企画)。共催：我孫子市教育委員
会。後援：我孫子市・社会福祉協議会。昔遊びや伝統文化を子どもに伝えるコーナー、仲間づくりをめざす
新しい感覚のコーナー、ジョイントコンサートや童謡を歌うなどの企画コーナー。

かえっこバザール。アビスタオープニングフェスティバル参加。ミュージカル原作審査員として協力参加。あ
びこ子どもまつりジュニアスタッフ結成。ユネスコ主催「第43回世界子供の祭典」交流。「ジャパンバードフ
ェスティバル」ジュニアスタッフ参加。

我孫子吹奏楽団の定期演奏会後援。教育委員会主催事業「冬休み劇場」協力。日本クロアチア友好協会
クリスマスパーティ3名参加。「大きな3段ケーキ」作り。市民活動フェア参加。

2003年 第9回開催

2004年 第10回開催 雨天。場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり企画。

1,678人参加。ユネスコ主催「第45回世界子供の祭典」子ども特派員5名派遣。手づくり散歩市同時開催。

よさこいソーラン、生け花教室、子ども茶道教室、ネイルアートのお店、子どもオリンピック、

手づくりジェットコースターなど。アビシティ方式(ハローワーク=働いてイベント通貨アビーを得、消費活動
をする)導入。参加団体が実行委員として活動する試みがスタート。「子どもまつり企画」から「子どもまつり
実行委員会」に改称。

年度終了後、趣旨目的を「子どもがつくる子どものための子どもまつり」とする提案が実行委員長より提出
される。共催：我孫子市教育委員会。後援：我孫子市、我孫子市国際交流協会、我孫子市社会福祉協議会。

2005年 第11回開催 雨天。場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり実行委員会。

524人参加。手づくり散歩市同時開催。子どもの王国「菜の花国」とおとなの企画コーナー「おとな隣国」の
設定。あびこ少年少女合唱団。どろんこ染め、どろだんご、メロメロ迷路村、けむりたいけん、

芝生レストランなど。共催：我孫子市教育委員会、我孫子市。後援：あびこ子どもネットワーク、我
孫子市社会福祉協議会。

2006年 第12回開催 主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市教育委員会。約1,000人参加。

むかし子ども商店街、ネイルアート、ワンダーランド株式会社、ヨット乗船体験、芝生レストラン。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市・我孫子市社会福祉協議会、あゆみの郷公社。
手づくり散歩市同時開催。

2007年 第13回開催 場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市教育委員会。親子 2,500 人参加。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市・我孫子市社会福祉協議会、あゆみの郷公社。

2008年 第14回開催 場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市教育委員会。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市・我孫子市社会福祉協議会、あゆみの郷公社。

2009年 第15回開催 場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会・我孫子市社会福祉協議会、あゆみの郷公社。

2010年 第16回開催 846人参加。

2011年 第17回開催 場所：アビスタ、手賀沼多目的広場。主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会、あゆみの郷・都市建設公社。

2012年 第18回開催

2013年 第19回開催

2014年 第20回開催 主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。20周年テーマ「子どもの未来は宇宙をこえて」。20周年特別企画「未来ポスト」5年後の自分への手紙、「あびこから宇宙へワープ」ホールで宇宙をつくろう（JAXA から宇宙ステーションの模型をお借りして展示）。
共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2015年 第21回開催 主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2016年 第22回開催 主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2017年 第23回開催 雨天。主催：あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。695人参加。共催：あびこ子どもネットワーク。後援：我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2018年 第24回開催 主催:あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。918人参加。共催:あびこ子どもネットワーク。後援:我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2019年 第25回開催 主催:あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。25周年企画:未来ポスト(5年前の手紙を返却、5年後の手紙をお預かり)、ソーラーハウスを作って電気の事をもっと知ろう(日本電気(株)我孫子事業場協力企画)、ポッチャ体験。共催:あびこ子どもネットワーク。
後援:我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2020年 「2020 ネットであびこ子どもまつり」開催。主催:2020 ネットであびこ子どもまつり。新型コロナ感染拡大の影響により本来の会場開催が中止となったため「第26回」は次回へ持ち越し「2020 ネットであびこ子どもまつり」としてあびこ子ネットのホームページ上に特設サイトを開設。本部企画としてオープニングでクイズを生配信。アビスタ展示会場で構成団体の紹介展示。双方向になるよう子ども記者クラブの企画で子どもたちからの感想を受け付け、動画や画像などのつくればも掲載するとして募集。共催:あびこ子どもネットワーク。
後援:我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

2021年 第26回開催 主催:あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市。新型コロナ感染拡大の影響により前年に続きあびこ子ネットのホームページ上に特設サイトを開設。パンフレットをバージョンアップしWithコロナも見据えて「第26回」として開催。景品付きスタンプラリー、筑波大学小林先生によるおもしろふしぎ科学実験 Live 配信、子ども記者クラブの企画で子どもたちからの感想を受け付け。アビスタ展示会場で構成団体の紹介展示。渡辺陽一郎氏提供の手作りおもちゃ展示などで双方向交流になるよう工夫。共催:あびこ子どもネットワーク。
後援:我孫子市教育委員会、我孫子市社会福祉協議会。

以上